

担当科目

以下の前期共通教育科目(1・2年次必修科目)のうち、
赤枠の学びと成長のデザイン科目、探究科目、データサイエンス科目の授業支援を行っていただきます。
各回の授業は、原則、教員2名とチューターによるチームティーチングで実施します。(データサイエンス科目はSAも参加)
※数字は単位数

科目		必修／選択	履修学年	履修クォーター				合計
				1QT	2QT	3QT	4QT	
学びと成長のデザイン		必修	1年	1	1		1	3
探究科目	社会課題探究	年度を通じて同一科目を必修 (「開講科目」参照)	1年	2	2		2	6
	論証型探究		1年	2	2		2	6
総合英語			1年	1	1	授業なし	1	3
データサイエンス		必修	1年	1	1	授業なし	1	3
			2年	1	1	授業なし	1	3
リーダーシップ			2年	1	1※		1	3
選択科目		必修	1～4年	各自で選択				3
I 類単位数:計30単位				10	10		10	30

時間割

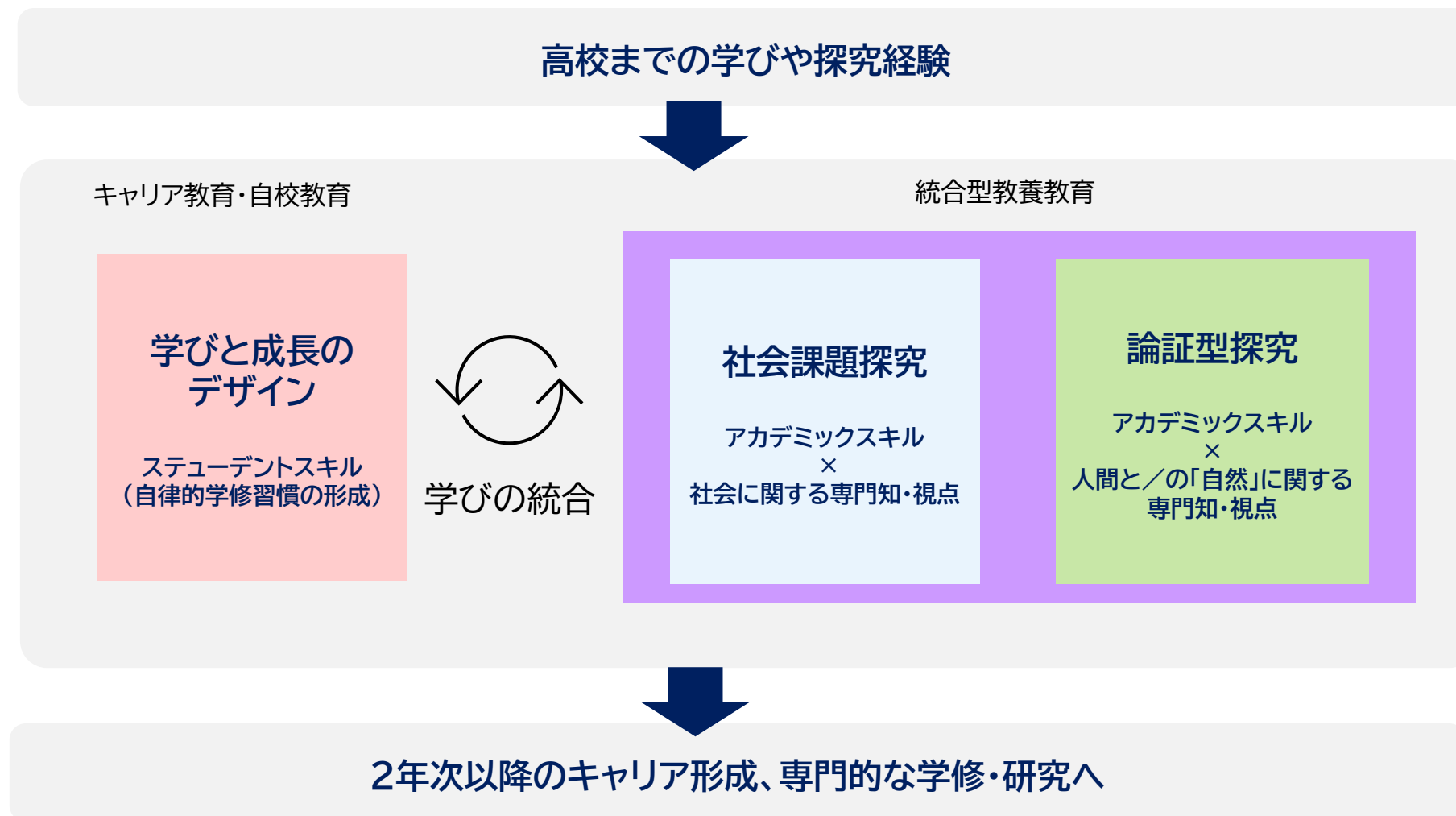
1日に2コマ連続で授業に入っていただきます。
学びと成長のデザイン科目:1回1コマ授業×2クラス
探究科目:1回2コマ連続授業×1クラス
データサイエンス科目:1回1コマ授業×2クラス
授業は第1、2、4QTに実施されます(第3QTはなし)

時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1	学びと成長のデザイン	社会課題探究	論証型探究	データサイエンス	データサイエンス
2		社会課題探究	論証型探究	データサイエンス	データサイエンス
3	学びと成長のデザイン	社会課題探究	論証型探究		
4		社会課題探究	論証型探究		

※選択科目はオンデマンドで開講
※科目名は変更になる場合があります

「学びと成長のデザイン」科目と「探究」科目では

生涯を通じて自律的・主体的に学ぶ姿勢を育むことを目指します。



コアチューター

1. 教職員と連携したより良い学修支援の仕組み構築と運営
(グループワークなどの授業内学修支援、各学科教員との情報共有・打ち合わせなど)
2. クラスチューターのマネジメント
3. 全1年生を対象とする「全員面談」の運営・実施(夏・冬年2回)
4. 「学修相談コーナー」の運営
5. 学修イベントの開催など、学生の「学びと成長」を支える施策の実施

クラスチューター

1. 授業担当教員・コアチューターと協働した、グループワークなどの学修支援
2. 授業後の学生が入力した「授業のふり返し」や「リフレクション」などへのコメント返却
3. 全1年生を対象とする「全員面談」の実施(夏・冬年2回)

※「学修支援」とは 授業中の学びのサポート、欠席者や課題未提出者の把握・フォロー、授業外での相談対応や面談などを通して、学生の「学びと成長」を継続的・総合的に支える取り組みです。

※コメント返却業務については、業務委託契約を締結していただきます。

データサイエンス科目での教育目標
主観的な判断ではなく、データをもとに意思決定を行う
データドリブンな思考を高め
社会の課題を解決し、価値を創造していく人材となる

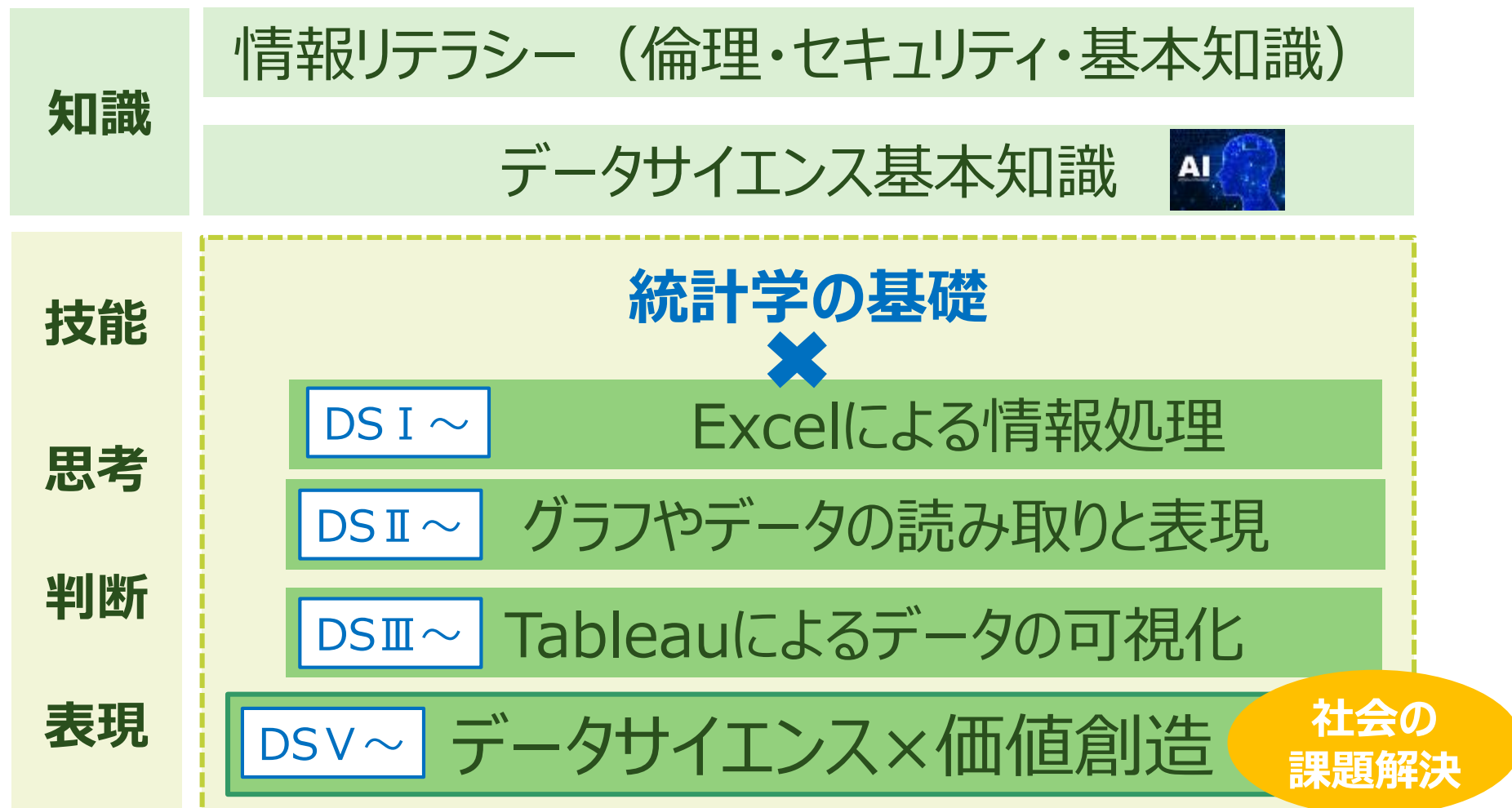
◆データサイエンス V～VI

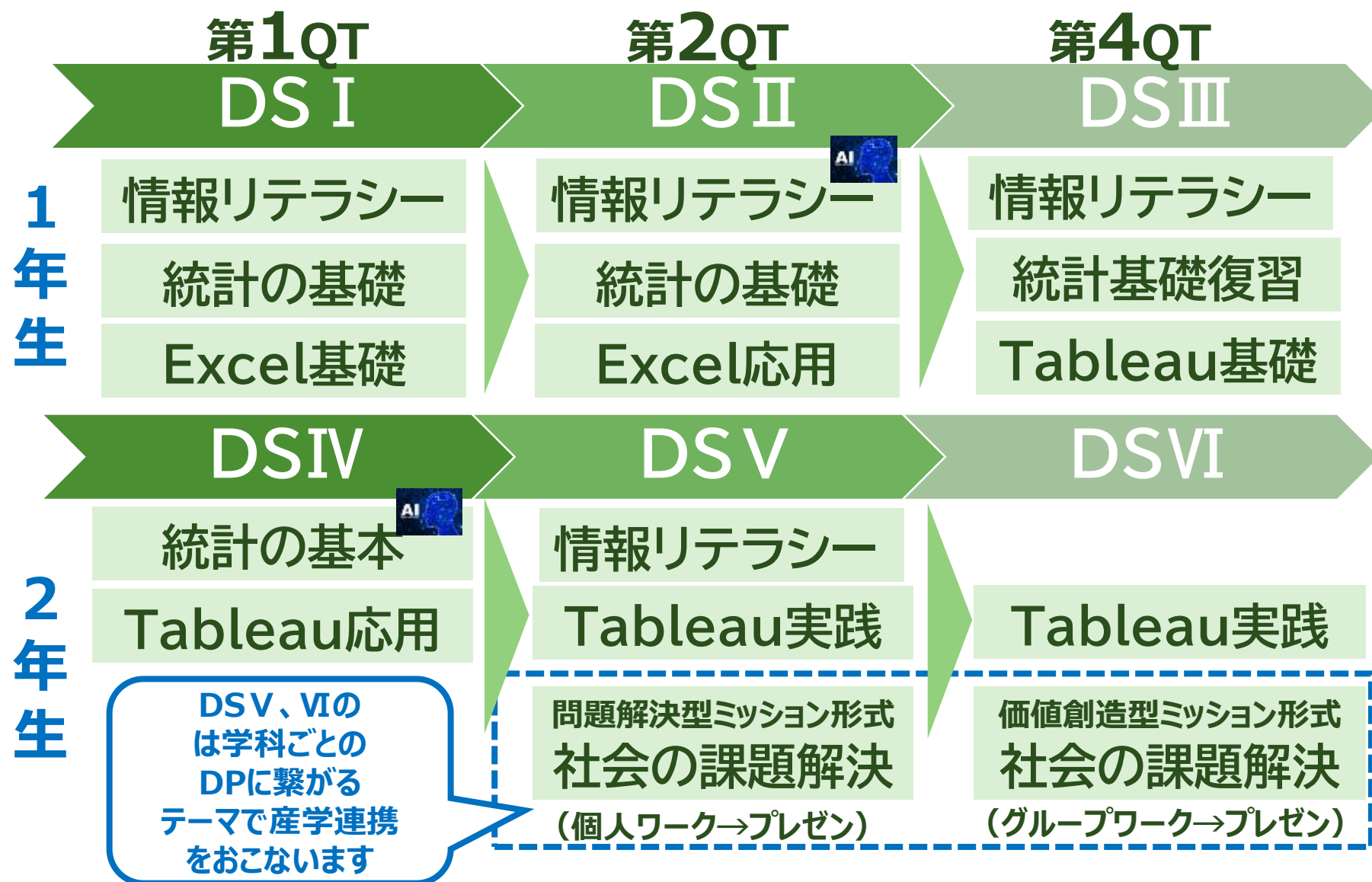
統計分析や論理的な思考スキルを身に付け、課題の発見や解決、社会への価値創造につながる仮説の構築を、実データを使った演習を通じて習得する。

◆データサイエンス I～IV

自らとデータサイエンスとをつなぐ道を開くために、データとは何なのか、データを活用するとはどういうことなのかを、統計の基礎をベースにExcelでの情報処理、Tableauでの可視化を 通じて学ぶ。
またPCやデータを利用する際に必要となる情報リテラシーも習得する。

- ✓ データサイエンスの科目の基本軸は以下の項目で検討





コアチューター

1. 教職員と連携したより良い学修支援の仕組み構築と運営
(授業・テストに向けた補習、データサイエンス関連の資格取得プログラム、新入生対象のPC相談会、各学科教員との情報共有・打ち合わせなど)
2. クラスチューターとSAのマネジメント
3. 授業準備および学修支援
4. 全1年生を対象とする「全員面談」の実施(夏・冬年2回)

クラスチューター

1. 授業担当教員・コアチューターと協働した、授業準備および学修支援
2. 全1年生を対象とする「全員面談」の実施(夏・冬年2回)

※「学修支援」とは

授業中の指導、欠席者・課題未提出者の洗い出しおよびフォロー、授業外の指導・面談など、総合的な学生の学びに対するサポート

※学生が授業で学ぶ内容の学修支援を行うため、統計、Excel、Tableau について、一定のレベルを習得していることが前提となります。